



## 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 27 日

上場会社名 井村屋製菓株式会社 上場取引所 東証二部・名証二部  
 コード番号 2209 URL <http://www.imuraya.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長(氏名) 浅田 剛夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼執行役員財務部長(氏名) 竹田 節郎 TEL (059) 234 - 2147

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績(平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20 年 3 月期第 1 四半期	6,668 0.4	460 -	432 -	286 -
19 年 3 月期第 1 四半期	6,639 1.1	503 -	444 -	499 -
19 年 3 月期	32,279 -	510 -	443 -	184 -

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	11.38	-
19 年 3 月期第 1 四半期	20.26	-
19 年 3 月期	7.32	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	24,639	11,242	45.6	447.36
19 年 3 月期第 1 四半期	24,771	11,185	45.2	442.99
19 年 3 月期	23,611	11,740	49.7	467.10

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想(平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
中 間 期	16,500 4.1	170 -	200 -	120 -	4 77
通 期	33,400 3.5	490 -	550 -	330 79.3	13 13

平成 19 年 3 月期決算短信(連結)で発表いたしました平成 20 年 3 月期の連結業績予想は中間期、通期とも変更はありません。

### 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う  
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

業績予想につきましては、決算日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期（平成 19 年 4 月 1 日から平成 19 年 6 月 30 日）におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景として引き続き設備投資も堅調に推移し、景気は緩やかな回復基調にありました。しかし、個人消費におきましては、原油価格の生活必需品への影響、税負担の増加、年金不信などによって先行きの不透明感は増しております。

菓子・食品業界にありましても、“食”の安全・安心への関心がますます高まるなかで、競争の激化に加え、原材料コストの高騰も依然として継続し、厳しい環境下におかれました。

当社では、期首（平成 19 年 4 月 8 日）に会社設立 60 周年を迎え、当第 71 期を「新生井村屋」創造への起点の年、また新中期 3 ヶ年計画の開始の年として、「特色経営」にこだわり・みがくことで企業価値の向上を目指し、継続と成長をはかるを基本テーマとする 5 年後のビジョンに向けてスタートいたしました。

当第 1 四半期におきましては、グループ全体の協働体制の強化と、ロス・ミス・ムダの撲滅を図り、ここ数年将来を見越して行いました設備をはじめとする投資の回収を促進して、業績の回復をはかるべく積極的な営業活動を行ってまいりました。

設備面におきましては、前期末に着工しておりました当社本社工場の重油ボイラーから天然ガスボイラーへの変更工事が終わり、4 月末から稼働いたしました。この四半期決算におきまして早くも燃料費の削減効果が表れておりますとともにCO<sub>2</sub>排出量削減による環境貢献にも繋げております。

売上面におきましては、当第 1 四半期は前年に比べ比較的天候にも恵まれたことで、菓子・食品の季節商品は概ね順調に推移しました。また、アイスクリームの売上也回復し前年同期比では 10.5%増となりました。他に、「和のスイーツ」を切り口とした和洋菓子の最寄品、新たに取り組んだ「菓匠井村屋 和蔵」ブランドの日配のチルド菓子及び業務用OEM製品などは、売上高の増加に寄与いたしました。昨年好調に推移したデイリーチルド商品の寒天類や、日本フード(株)の「スパウチ類」が不振であったことに加え、フードサービス事業の退店の影響もあって、当四半期の連結売上高は 66 億 68 百万円（前年同期比 0.4%増）で、井村屋製菓の個別売上高は 62 億 73 百万円（前年同期比 3.5%増）となりました。

利益面におきましては、当社グループは元来第 1 四半期が年間を通じ売上が最も低調な時期であり、収益面でも赤字基調であります。当四半期では原材料費高止まりの影響を和らげるべくグループ全体で生産の効率化に取り組みを行いました。カンパニー組織の統廃合によるチルドフーズ及びアンナミラーズの生産部門を高茶屋の生産部門へ移管したことや、前期 6 月に稼働したアイスクリーム「バーサライン」が、4 月からフル稼働を行った効果などにより流通部門におきましては売上原価の低減に繋がりました。

以上によって、連結経常損失は 4 億 32 百万円（前年同期の経常損失は 4 億 44 百万円）

となりました。また、当四半期では特別損益の計上項目が少なかったことと法人税等調整額の加減の影響から、当期連結純損失は 2 億 86 百万円（前年同期の当期純損失は 4 億 99 百万円）となりました。

第 2 四半期におきましては、夏物商品の最重要期に向かい「あずきバー」を中心とするアイスクリームや水ようかん、シロップなどの夏物商品の拡売、加えて今シーズンは 7 月末からスタートする当社の主力商品「肉まん あんまん類」などの秋・冬物商品の市場拡大活動に邁進いたします。

## 2．連結財政状態に関する定性的情報

第 1 四半期末における純資産が期末と比べて減少するのは、前期利益処分に加え、第 1 四半期が年間を通じ売上が最も低調な時期にあり、収益面でも赤字基調であることによっております。

## 3．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金の計上基準等は一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

## 4.(要約)四半期連結財務諸表

## (1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末 平成19年3月期 第1四半期末	当四半期末 平成20年3月期 第1四半期末	増 減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>流動資産</b>					
現金及び預金	751	583	168	22.4	620
受取手形及び売掛金	5,250	5,824	574	10.9	5,290
たな卸資産	2,964	2,871	93	3.1	2,407
繰延税金資産	306	628	322	105.2	442
その他の流動資産	255	233	22	8.6	318
貸倒引当金	1	10	9		2
流動資産合計	9,526	10,130	604	6.3	9,076
<b>固定資産</b>					
有形固定資産	12,416	11,814	602	4.8	11,812
無形固定資産	42	41	1	2.4	40
投資その他の資産	3,143	3,032	111	3.5	3,041
貸倒引当金	358	379	21		360
固定資産合計	15,244	14,509	735	4.8	14,534
資産合計	24,771	24,639	132	0.5	23,611
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
支払手形及び買掛金	3,799	3,744	55	1.4	3,409
短期借入金	3,021	3,369	348	11.5	1,964
賞与引当金	274	291	17	6.2	414
未払金	2,378	1,768	610	25.7	1,800
設備関係支払手形	689		689		68
その他の流動負債	445	538	93	20.9	401
流動負債合計	10,609	9,712	897	8.5	8,057
<b>固定負債</b>					
長期借入金	811	1,615	804	99.1	1,727
退職給付引当金	763	690	73	9.6	711
役員退職慰労引当金	156	131	25	16.0	127
再評価に係る繰延税金負債	1,234	1,234			1,234
その他の固定負債	11	12	1	9.1	11
固定負債合計	2,976	3,684	708	23.8	3,812
負債合計	13,586	13,397	189	1.4	11,870

## 井村屋製菓(株) (2209) 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

科 目	前年同四半期末 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)	当四半期末 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成 19 年 3 月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(純資産の部)</b>					
<b>株主資本</b>					
資本金	2,253	2,253			2,253
資本剰余金	2,321	2,322	1	0.0	2,322
利益剰余金	5,190	4,926	264	5.1	5,413
自己株式	198	252	54	27.3	250
株主資本合計	9,568	9,249	319	3.3	9,739
<b>評価・換算差額等</b>					
土地評価差額金	1,203	1,664	461	38.3	1,664
その他有価証券評価差額金	410	321	89	21.7	330
為替換算調整勘定	2	6	4	200.0	5
評価・換算差額等合計	1,617	1,992	375	23.2	2,001
純資産合計	11,185	11,242	57	0.5	11,740
負債、純資産合計	24,771	24,639	132	0.5	23,611

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期 第1四半期〕	当四半期 〔平成20年3月期 第1四半期〕	増 減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>売上高</b>	6,639	6,668	29	0.4	32,279
<b>売上原価</b>	4,706	4,723	17	0.3	22,240
売上総利益	1,933	1,945	12	0.6	10,039
<b>販売費及び一般管理費</b>	2,437	2,406	33	1.3	10,549
営業損失	503	460	43		510
<b>営業外収益</b>	84	79	5	6.0	283
受取利息	0	0	0	0.0	0
受取配当金	16	14	2	12.5	26
持分法による投資利益	0	4	4		10
その他の収益	67	60	7	10.4	246
<b>営業外費用</b>	25	51	26	104.0	206
支払利息	8	13	5	62.5	51
その他の費用	17	38	21	123.5	155
経常損失	444	432	12		433
<b>特別利益</b>	70		70		764
投資有価証券売却益	68		68		664
その他の利益	2		2		98
<b>特別損失</b>	64	6	58	90.6	171
固定資産売却損除却損	15	4	11	73.3	115
その他の損失	48	1	47	97.9	56
税金等調整前四半期(当期)純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	438	439	1		159
税金費用	60	153	213		25
四半期(当期)純利益又は四半期純損失( )	499	286	213		184